

～海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」～
**横浜の海で養殖されたコンブ、ワカメのCO₂吸収・固定量を
クレジットとして認証しました！**

日本初

横浜ブルーカーボン^{※1}・オフセット制度^{※2}では、IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change (国連気候変動に関する政府間パネル) の略。) により示されたアマモに適用可能な標準的なブルーカーボンの定量化手法を用いて、海の公園の公園管理区域内に生息するアマモによるCO₂吸収・固定量(ブルーカーボン^{※3})を定量化し、本年9月にクレジットとして認証しました。

現在まで、コンブ、ワカメには標準的なブルーカーボンの定量化手法が定められていなかったため、このたび、本市独自の手法によりブルーカーボンを定量化しました。これにより、横浜の海で養殖されたコンブ、ワカメのブルーカーボンをカーボン・オフセット可能なクレジットとして認証しました。

コンブ、ワカメのブルーカーボンのクレジット認証は日本初の取組です。

【コンブ、ワカメのブルーカーボンについて】

コンブやワカメなどの海藻も成長過程でCO₂を吸収します。しかしながら、コンブやワカメなど海産物として収穫されて食用や各種の原料として加工されてしまう部分の炭素は、再度大気中に放出されてしまうためブルーカーボンとはみなせません。コンブやワカメの成長過程で脱落した部位のうち長期的に分解されずにいるものをブルーカーボンとして扱います。

【クレジット申請者について】

クレジット申請者や実施場所については下表のとおりです。

	海藻種別	クレジット申請者	養殖実施者	クレジット [t-CO ₂]
1	コンブ	横浜市漁業協同組合	横浜市漁業協同組合	5.4
2	コンブ	一般社団法人 里海イニシアティブ	一般社団法人 里海イニシアティブ	0.2
3	ワカメ	横浜市漁業協同組合	横浜市漁業協同組合 株式会社横浜八景島 特定非営利活動法人 海辺づくり研究会	0.2

【ブルーカーボンの定量化手法について】

「浅海生態系における年間二酸化炭素吸収量の全国推計」(桑江朝比呂, 吉田吾郎, 堀正和, 渡辺謙太, 棚谷灯子, 岡田知也, 梅澤有, 佐々木淳) の考え方を基本として、コンブ、ワカメに適用するための係数を調査の上で決定しました。

【クレジットの購入について】

クレジットの購入を希望される方は、温暖化対策統括本部プロジェクト推進課横浜ブルーカーボン担当(電話: 045-671-4109)までお問合せください。

裏面あり

【※1 横浜ブルーカーボンとは？】

横浜ブルーカーボン事業では、ブルーリソース・ブルーカーボンによる独自のカーボン・オフセット制度の運用や環境教育・啓発活動によって親しみやすい海づくりに市民の関心を集め、市民や団体の豊かな海を守る活動を応援していきます。



横浜ブルーカーボンの3事業領域

【※2 カーボン・オフセット制度とは？】

CO₂ 排出量削減の手法のひとつとして、他者の CO₂ 排出量削減や CO₂ 吸収・固定の効果を買取り、自らの CO₂ 排出量と相殺するカーボン・オフセットがあります。カーボン・オフセットには、クレジット申請者には資金面の支援を受けることにより活動が活性化できるメリットがあり、オフセット実施者には CSR 活動として広報を行うことで企業価値が向上するメリットがあります。

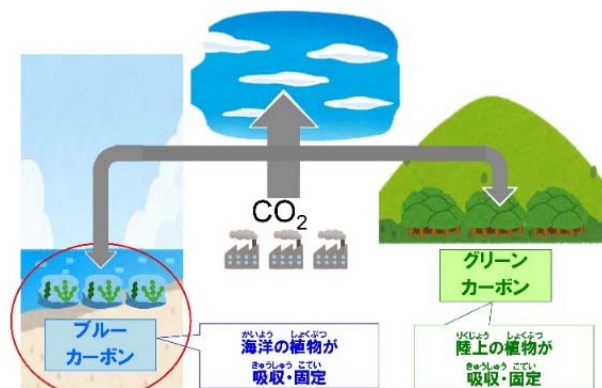
横浜ブルーカーボン・オフセット制度では、クレジット申請者が受け取る販売代金の使途を”ブルーカーボン又はブルーリソースによる温暖化対策、環境保全、環境啓発の活動に活用すること”としています。これにより、豊かな海づくり活動のさらなる活性化がもたらされ、オフセット制度による好循環サイクルが形成されています。



オフセット制度による好循環サイクル

【※3 ブルーカーボンとは？】

森林が吸収・固定する CO₂ をグリーンカーボンといいます。同様に、海洋生態系が吸収・固定する CO₂ をブルーカーボンといいます。



ブルーカーボン、グリーンカーボン

お問合せ先
温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 岡崎 修司 Tel 045-671-2636